



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3619		
科目名	スポーツビジネス論演習		
担当教員	久保 賢志		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 2		
講義室	1405	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1－E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4－F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4－I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5－J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 E1 学識・専門技能（10%） F1 探求と論拠（15%） F2 課題解決（15%） I1 理解・分析と読解（40%） J1 継続的学修基盤（20%）		
教員の実務経験	新聞社のスポーツ事業部門で10年間、野球（高校・社会人）や陸上（駅伝・マラソン）、バレーボール、アメフト、テニス、相撲などの競技団体と協働し、様々なスポーツイベントを手掛けてきました。本授業では国内、国外で認知されるスポーツビジネスの実情を実務上の知見、経験を活かし講義をしていきます。（第14回、第15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本演習では、スポーツビジネス論で学習した内容を踏まえ、国内外における広範囲にわたるスポーツに関連するビジネス（産業）の中から、スポーツ産業の三大領域と呼ばれるスポーツ用品産業、スポーツ施設空間産業、スポーツ情報サービス産業についての先行研究をレビューし、さらに深く日本及び海外でのスポーツビジネスの発展やその特徴、各地域・自治体とスポーツ産業の関係性について理解をし、各受講者の興味関心の高いスポーツビジネスについて、三大領域あるいはそのハイブリッド型のビジネス領域に大別しながらそれぞれ分析を行い、受講者がそれぞれに興味関心の高い分野におけるビジネスプラン（事業計画）を策定してみます。そして将来のスポーツに関連した企業、組織での活動、あるいはこの分野での研究に活かせる知見を養うことを目指します。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテン스에に基づき効果的な授業方法		

	として、又は各授業を補完・代替するため、オンライン授業を一部取り入れることもあります。 ■キーワード スポーツビジネス・スポーツ産業・地域スポーツビジネス・スポーツツーリズム・ビジネスプラン						
授業の趣旨	■副題 社会背景・地域の特徴を考慮しながらスポーツ産業の発展、スポーツを活用した社会環境、人々の生活の充実度の向上・発展に寄与するための方策や課題解決を実現する能力を身につけます。 ■授業の目的 スポーツを取り巻く環境の向上・改善を目指し、特に経済的な優位性をもたらすスポーツ環境を整えるためのスポーツ関連ビジネス（産業）の発展、スポーツ関連ビジネス（産業）のマネジメントのあり方について理解を深めます。その学修を通じて、自身の目標を達成する上で、反省的実践家としての能力を養成することを目的とします。 ■授業のポイント 社会状況の変化に応じてスポーツに関連するビジネス（産業）も変化をしています。しかし、競技スポーツ、社会スポーツにおいては、より合理的にスポーツ活動を行うための環境を整備するという点に対する条件は変わっていません。つまりそれは経済的優位性を獲得し、財政基盤を安定したスポーツの環境を整えることです。そのためには世の中の変化を先取りし、それをスポーツ関連産業の発展に関連づけ、現状の常識にとらわれない創造的なスポーツビジネスのアイデアを実践し、マネタイズすることにより競技スポーツ、社会スポーツの環境の向上・整備に還元するという好循環（エコシステム）を構築できる能力を養成します。						
総合到達目標	■スポーツを取り巻く環境の向上・改善を目指しながら、自身の目標を達成するための反省的実践家としての能力を養成し、スポーツをビジネス（産業）として発展させ、競技スポーツの現場に還元する（マネタイズ）実践的な方策を創造出来るようにする。 ・三大スポーツビジネス領域に関する文献（情報）について整理し、批判的な分析・読解ができる。（第2～3回、第6～7回、第10～11回） ・分析・読解した内容について、自身のビジネスプランあるいはそのビジネス領域で自身で考える課題と関連づけて説明することができる。（第4回、第8回、第12回） ・学修した内容を自身の今後の活動に応用するため自ら策定したビジネスプランに関連づけて具体的に述べるができる。（第5回、第9回、第13～15回）						
成績評価方法	■ビジネスプラン策定、発表（60%）：適用ルーブリック F 1・F 2・G 1 （評価の観点）ビジネスプラン（事業計画）特に概略であるビジネスキャンパスの記載内容で評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に優れた内容について解説を行い、ディスカッションをします。 ■授業内のリアクションペーパー（12回）（40%）：適用ルーブリック I 1・J 2（評価の観点）授業内で実施する授業リアクションペーパーで課せられたタスクを遂行できているか評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、ディスカッションすることで理解を深めつつ関連の知識を振り返ります。						
履修条件	スポーツビジネス論（SSCS2330S）またはスポーツマーケティング論（SSCS2331S）を履修していること						
履修上の注意点	グループ内発表、ディスカッション等、参加型の授業を組み入れます。積極的な授業態度が求められます。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 本演習の概要、授業の進め方と評価、および学修を進める上で留意すべき点などについて概説し、受講者が授業の準備を効率よく行えるようになる。 ③予習（120分） シラバスの内容を確認し、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自身の学修計画などについて確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ スポーツ用品産業について① ②授業概要 国内外のスポーツ用品産業について解説をした後、参考資料を精読し、スポーツ用品産業における課題、社会課題の解決のためのスポーツ用品業の役割など、重要であると考えられる内容、及びさらに理解を深めてみたい内容について整理をし、関連する論文、資料を </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 本演習の概要、授業の進め方と評価、および学修を進める上で留意すべき点などについて概説し、受講者が授業の準備を効率よく行えるようになる。 ③予習（120分） シラバスの内容を確認し、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自身の学修計画などについて確認する。	2	①授業テーマ スポーツ用品産業について① ②授業概要 国内外のスポーツ用品産業について解説をした後、参考資料を精読し、スポーツ用品産業における課題、社会課題の解決のためのスポーツ用品業の役割など、重要であると考えられる内容、及びさらに理解を深めてみたい内容について整理をし、関連する論文、資料を
回	内容						
1	①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 本演習の概要、授業の進め方と評価、および学修を進める上で留意すべき点などについて概説し、受講者が授業の準備を効率よく行えるようになる。 ③予習（120分） シラバスの内容を確認し、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自身の学修計画などについて確認する。						
2	①授業テーマ スポーツ用品産業について① ②授業概要 国内外のスポーツ用品産業について解説をした後、参考資料を精読し、スポーツ用品産業における課題、社会課題の解決のためのスポーツ用品業の役割など、重要であると考えられる内容、及びさらに理解を深めてみたい内容について整理をし、関連する論文、資料を						

	検索することができるようになる（I1、F1）。 ③予習（120分） 参考資料を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手する。
3	①授業テーマ スポーツ用品産業について② ②授業概要 第2回で抽出したスポーツ用品産業に関連する特徴や課題について、さらに理解を深めるために選択した文献を精読し、要点についてまとめ、それら課題解決の自身の考え、その特徴などの解説ができるようになる（I1、F1）。 ③予習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手し、まとめておく。 ④復習（120分） 文献概要、発表資料の作成に向けて、精読した文献の要点、自身が提案する課題解決の提案等について整理する。
4	①授業テーマ スポーツ用品産業③ ②授業概要 参考資料および関連文献の精読を踏まえ、その概要や見出した課題の解決の提案などプレゼンテーション資料としてまとめることができるようになる（F2、J1）。 ③予習（120分） 参考資料の授業テーマに該当する部分を一読し、見出した課題や疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 授業でまとめた文献概要、課題解決の提案について整理し、次回のグループ内発表に向けた準備を行う。
5	①授業テーマ スポーツ用品産業④ ②授業概要 前回の授業および復習で作成したプレゼンテーション資料について小グループ内で発表（共有）し、質疑応答や議論を行うことにより、テーマの要点や自身の考えについて整理することができるようになる（F2、J1）。 ③予習（120分） 授業でまとめたプレゼンテーション資料について整理し、グループ内発表に向けた準備を行う。 ④復習（120分） 質疑応答や議論の内容を踏まえて、自身が作成した資料の加筆修正を行う。
6	①授業テーマ スポーツ情報・サービス産業（スポーツ関連メディア）について① ②授業概要 国内外のスポーツ情報サービス（スポーツ関連メディア）産業について解説をした後、参考資料を精読し、スポーツ情報サービス産業における課題、社会課題の解決のためのメディアの役割など、重要であると考えた内容、及びさらに理解を深めてみたい内容について整理をし、関連する論文、資料を検索することができるようになる（I1、F1）。 ③予習（120分） 参考資料を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手する。
7	①授業テーマ スポーツ情報サービス産業（スポーツ関連メディア）について ②授業概要 第6回で抽出したスポーツ情報サービス産業（スポーツメディア）に関連する特徴や課題について、さらに理解を深めるために選択した文献を精読し、要点についてまとめ、それら課題解決の自身の考え、その特徴などの解説ができるようになる（I1、F1）。 ③予習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手し、まとめておく。 ④復習（120分） 文献概要、発表資料の作成に向けて、精読した文献の要点、自身が提案する課題解決の提案等について整理する。

8	①授業テーマ スポーツ情報サービス産業（スポーツ関連メディア）について③ ②授業概要 参考資料および関連文献の精読を踏まえ、その概要や見出した課題の解決の提案などプレゼンテーション資料としてまとめることができるようになる（F2、J1）。 ③予習（120分） 参考資料の授業テーマに該当する部分を一読し、見出した課題や疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 授業でまとめた文献概要、課題解決の提案について整理し、次回のグループ内発表に向けた準備を行う。
9	①授業テーマ スポーツ情報サービス産業（スポーツ関連メディア）について④ ②授業概要 前回の授業および復習で作成したプレゼンテーション資料について小グループ内で発表（共有）し、質疑応答や議論を行うことにより、テーマの要点や自身の考えについて整理することができるようになる（F2、J1）。 ③予習（120分） 授業でまとめたプレゼンテーション資料について整理し、グループ内発表に向けた準備を行う。 ④復習（120分） 質疑応答や議論の内容を踏まえて、自身が作成した資料の加筆修正を行う。
10	①授業テーマ スポーツ施設空間産業について① ②授業概要 国内外のスポーツ施設空間産業について解説をした後、参考資料を精読し、スポーツ施設空間産業における課題、社会課題の解決のためのスポーツ施設業の役割など、重要であると考ええる内容、及びさらに理解を深めてみたい内容について整理をし、関連する論文、資料を検索することができるようになる（I1、F1）。 ③予習（120分） 参考資料を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手する。
11	①授業テーマ スポーツ施設空間産業について② ②授業概要 第10回で抽出したスポーツ施設空間産業に関連する特徴や課題について、さらに理解を深めるために選択した文献を精読し、要点についてまとめ、それら課題解決の自身の考え、その特徴などの解説ができるようになる（I1、F1）。 ③予習（120分） 講義ノートを確認し、自身が重要であると考えた事項に関連する文献を入手し、まとめておく。 ④復習（120分） 文献概要、発表資料の作成に向けて、精読した文献の要点、自身が提案する課題解決の提案等について整理する。
12	①授業テーマ スポーツ施設空間産業について③ ②授業概要 参考資料および関連文献の精読を踏まえ、その概要や見出した課題の解決の提案などプレゼンテーション資料としてまとめることができるようになる（F2、J1）。 ③予習（120分） 参考資料の授業テーマに該当する部分を一読し、見出した課題や疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 授業でまとめた文献概要、課題解決の提案について整理し、次回のグループ内発表に向けた準備を行う。
13	①授業テーマ スポーツ施設空間産業について④ ②授業概要 前回の授業および復習で作成したプレゼンテーション資料について小グループ内で発表（共有）し、質疑応答や議論を行うことにより、テーマの要点や自身の考えについて整理することができるようになる（F2、J1）。

	③予習（120分） 授業でまとめたプレゼンテーション資料について整理し、グループ内発表に向けた準備を行う。 ④復習（120分） 質疑応答や議論の内容を踏まえて、自身が作成した資料の加筆修正を行う。
14	①授業テーマ ビジネスプラン（事業計画）の策定 ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、スポーツビジネスモデルの事例を示すとともに、2回から13回で学修した内容を基に、自身が興味関心のあるスポーツ関連ビジネスについて、そのビジネスモデルを策定できるようになる。概略としてビジネスキャンバスの作成し、詳細内容はプレゼンテーション資料にまとめることができる。ビジネスキャンバスの作成については授業内で解説を行う。（F 1・F2・J1・J2・I 1） ③予習（120分） ビジネスプラン（事業計画）策定のため自身の興味関心のあるビジネスモデルの内容を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） ビジネスキャンバス（事業概略）の内容、要点をまとめ、自身の考え、特徴を説明できるようにしておく。
15	①授業テーマ ビジネスプランの発表 ②授業概要 自身のビジネスプラン（事業計画）について各自発表を行う。自身の発表と他者の発表を比較し、評価を行うことで、さまざまなスポーツビジネスについて考察した内容をリアクションペーパーにまとめる（F2・G1）。模範解答の説明及び、担当者の実務経験を踏まえスポーツビジネスの特徴・課題についてのトレンドの解説を行い、これまで学修した内容の復習を行なう。 ③予習（120分） ビジネスプランの個人発表に向け練習し、確認しておく。 ④復習（120分） 自身の発表内容と他者の発表内容について、自身の考えをまとめて説明できるようにしておく。
関連科目	スポーツビジネス論（SSCS2330S）, スポーツマーケティング論（SSCS2331S）
教科書	指定しません。
参考書・参考URL	原田宗彦 著：スポーツ産業論, 啓林書店, 2021 平田竹男 著：スポーツビジネス 最強の教科書〔第2版〕, 東洋経済新報社, 2017
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。 オフィスアワー以外の時間は日時を調整の上、対応します。
研究比率	

